

# 総合 Web サイト制作講座

このコースでは『Web サイト制作』を大きなテーマに、フォトショップ・イラストレータ・フラッシュといったソフト群の活用方法及び技術の習得を目指します。

それぞれのソフトを連携させながら展開していきます。

8月1日(水) 10:00～15:00 「サンプル画像再現」

フォトショップとイラストレータの基本操作を再確認するため、両ソフトで描かれたサンプル画像を、どんな技法で描かれているか分析しながら、可能な限り忠実に再現します。

8月4日(土) 10:00～16:00 「サイト設計・イメージ検討」

今回の最終目標であるオリジナルサイト構築のために、トップページやコンテンツページなどのサイト完成イメージ画を、フォトショップやイラストレータで描きます。この作業により、本番で必要になる文字素材や画像素材の種類が判明し、効率的な作業を進めることが出来ます。また、この作業で描いたファイルは、次回からの本番用素材制作にもそのまま活用されます。

8月8日(水) 10:00～15:00 「画像素材制作」

イメージ画を描いた際に考案したタイトルや飾り、画像などを実際に使用する素材として仕上げていきます。素材の種類によって、フォトショップによる JPEG 画像が向いている場合と、イラストレータによる GIF 画像が向いている場合とがあり、今回と次回はフォトショップによる画像を制作します。

8月11日(土) 10:00～16:00 「画像素材制作」

微妙な色調や美しい写真画像など、JPEG 形式に向けた画像素材の制作を進めます。

8月22日(水) 10:00～15:00 「文字素材制作」

グラフィックデザインの基本であるタイポグラフィ（文字デザイン）の基礎習得を目指します。

8月25日(土) 10:00～16:00 「文字素材制作」

タイトル文字やボタンなど、イラストレータによる GIF 形式に向けた画像の制作を進めます。

8月29日(水) 10:00～15:00 「サイト基礎構造構築」

本格的なサイト制作に入る前に、サイト全体の基礎工事を行って全体の構造を理解します。

html のタグ打ちによるホームページ制作とは異なる、ドリームウェーバーによるリアルタイムな視覚的制作を実習します。

9月1日(土) 10:00～16:00 「素材の読み込み・加工」

フォトショップやイラストレータで制作された各種素材を、ホームページやFLASHでの使用に適した形式に変換して、ドリームウェーバーやFLASHに読み込みます。また、一度書き出した素材を加工修正する方法も試します。

9月5日(水) 10:00～16:00 「FLASH インターフェイス」

読込んだ素材を使って、FLASHによる動きのあるインターフェイス作りを進めます。マウスの挙動に対してインタラクティブに反応するボタンやページを考案します。

9月8日(土) 10:00～16:00 「FLASH サイト」

FLASH をボタンやページの一部としてだけでなく、FLASH によってサイトそのものを構築する方法を学びます。土台になるファイルに各種コンテンツ用のファイルをロードして表示するなど、高度なFLASHサイトを試します。

9月12日(水) 10:00～16:00 「仮想空間の表現」

今回のサイトのテーマでもある仮想ギャラリー空間を再現するため、FLASHによる擬似的な空間表現を試します。マウスクリックやカーソルキーの操作によって、画面上の部屋を移動できるようになります。

9月15日(土) 10:00～16:00 「ビヘイビアの活用」

java スクリプトやCSSなど、html とは別に煩雑なスクリプト入力が必要なホームページの各種演出機能を、ドリームウェーバーを使って素早く効果的に制作する方法を学びます。

9月19日(水) 10:00～16:00 「素材の修正・追加」

それぞれの素材やファイルを使ってサイトを組み立て、実際に動作確認をしてみると、設計段階では気付かなかった様々な問題が表面化してきます。文字や画像のファイルをそのままhtmlに張付けている場合と、FLASHに読込んで使用している場合とでは修正・追加方法が全く異なるため、それらの的確な修正方法を学びます。

9月22日(土) 10:00～15:00 「サイト完成・更新」

サイト全体のリンクや表示状態を確認し、ページによるバラつきやリンク切れなどを修正し、最終調整をしたのちにサーバアップ&サイトオープンし、更にはページの更新作業を試します。

進行状況により、内容が前後する場合があります。